

# 第三セクター

# 決算状況報告

令和2年10月

株式会社五ヶ瀬ハイランド  
五ヶ瀬ワイナリー株式会社

五ヶ瀬ハイランド事業報告

26期は、スキー事業部では、32,000人の集客目標、宿泊事業部では、団体客の増加を目標にネットでの販売を強化し、会社の黒字化を目標に売上高263,398,149円の計画を立てスタートした。今期、宿泊事業部においては、上期(6月~11月)終了時点で売上高が計画、前期対比で上回り順調に推移し黒字化が図られていた。しかしながら、下期では、世界中で広がった新型コロナウイルスの影響を受け、特に第四四半期(3月~5月)では、学校一斉休校後から事前予約が(宿泊、法事を含む宴会)キャンセルとなり、自粛要請後にはレストラン利用客も激減した。スキー事業部においても暖冬、降雨により来場者の減少する中であつたが、シーズン終盤での団体客の予約や、ツアーバスの運行が新型コロナウイルスの影響でキャンセルや中止になった事が来場者の減少に繋がった。このような事から今期の会社全体の売上高は、200,947,932円で終了し前期対比で3,353万円の減収となり極めて厳しい結果となった。費用においては、仕入原価がスキー場、木地屋レストランの売上が減少した事と、食材の原価率の改善により、前期対比で724万円減少した。販管費では、重油・灯油代がスキー場の暖冬の影響や老朽化による木地屋温泉水の流出などで増加したが全体では、社員の努力により前期対比で880万円削減できた。売上高から仕入原価、販管費を差し引いた今期の営業損益は-40,601,676円となり事業外収益を加え事業外費用を引いた経常損益は、-33,691,980円で終了した。暖冬、新型コロナウイルスの影響を受け売上が大きく減少した事が収支に大きく影響し厳しい結果となった。経常損益に法人税2,104,600円を加算した当期の純損益は、-35,796,580円となり赤字計上となった。

会社全体事業実績

単価：円

項目	26期実績	26期計画	計画対比	25期実績	前期対比
売上高	200,947,932	263,398,149	-62,450,217	234,480,503	-33,532,571
仕入原価合計	32,041,298	42,737,000	-10,695,702	39,284,911	-7,243,613
売上総利益	168,906,634	220,661,149	-51,754,515	195,195,592	-26,288,958
販管費計	209,508,310	221,761,740	-12,253,430	218,311,499	-8,803,189
事業外収益	6,965,076	3,600,000	3,365,076	3,823,799	3,141,277
事業外費用	55,380	0	55,380	826	54,554
法人税等	2,104,600	2,100,000	4,600	2,093,800	10,800
合計	-35,796,580	399,409	-36,195,989	-21,386,734	-14,409,846

\*売上には受託料含\*26期実績販管費計には会社共通経費1,599,030円含 事業外費用55,380円会社共通経費

スキー事業部事業報告

26期は、前期好評を得た平日学割をメインに周知活動を展開し集客目標32,000人、売上高15,884万円の計画を立て12/13日に営業をスタートした。今期も前期に増して暖冬の影響を受け降雨により、期間中7日間(12月/3日間・1月/4日間)がクローズとなり実質73日間の営業を得て3/1日に今期の営業を終了した。今期は期間中気温0度以上の日が34日間あり雪日も5日間と少なくゲレンデ作り、整備に苦労したシーズンとなった。集客の見込めるパラダイスコース(1000M)は期間中5.5日間の営業となり、シーズン終盤には新型コロナウイルスの影響を受けバスツアーがすべてキャンセルになったことから今期の来場者数は、21,442人で終了し過去最低となった。来場者が減少した事により売上も大きく減少し前期対比1,943万円の減となり今期の売上高は116,181,939円で終了した。一方費用においては、燃料費(重油代)が増加したが仕入原価と販管費合計で1,073万円削減する事が出来た。売上から、仕入原価、販管費を差し引いた今期の営業損益は、-25,645,763円となり、事業外収益を加えた当期純損益は、-21,032,722円で終了し2期連続で赤字計上となった。

事業実績

項目	26期実績	26期計画	計画対比	25期実績	前期対比
売上高	116,181,939	158,848,889	-42,666,950	135,618,610	-19,436,671
仕入原価合計	9,846,018	14,907,000	-5,060,982	12,479,698	-2,633,680
売上総利益	106,335,921	143,941,889	-37,605,968	123,138,912	-16,802,991
販管費計	131,981,684	142,814,200	-10,832,516	140,084,964	-8,103,280
事業外収益	4,613,041	2,800,000	1,813,041	2,882,352	1,730,689
事業外費用	0	0	0	0	0
合計	-21,032,722	3,927,689	-24,960,411	-14,063,700	-6,969,022

宿泊事業部事業報告

26期は、国が示す働き方改革の観点から毎週水曜日を基本にレストラン定休日を設け、利用者には周知を徹底し、ご理解頂き、又、宿泊利用者には、素泊まり、一泊1食、での利用などネット販売を強化し、年間売上計画10,455万円を立て営業を行った。その結果、上期(6月~11月)では特にレストラン売上が、計画比111.2%、前期対比104.9%と好調に推移し、売上全体でも計画、前期対比を上回り収支於いても、黒字で終える事が出来た。しかしながら下期(12月~5月)では、新型コロナウイルスの影響受け、特に学校の一斉休校要請があつた後から事前予約キャンセル(3月~5月宴会1129名・宿泊605名)が相次ぎその後の予約、利用客も大幅に減少し第四四半期(3月~5月)合計売上は前期対比35.3%まで落込み1,410万円の減少となった。又、感染予防対策として町との協議を行いゴールデンウィーク期間(8日間)を休業した。結果今期の総売上高は、84,765,993円で終了し(計画対比81.1%、前期対比85.7%)極めて厳しい結果となった。費用においては、施設の老朽化もあり今期は温泉の配管が破損し温泉水の流出により灯油代(167万円)水道代(67.9万円)が増加したが全体では削減する事が出来た。売上から仕入原価、販管費を差し引いた今期の営業損益は-13,356,883円となり事業外収益を加えた当期純損益は、-11,004,872円で終了し今期も赤字計上となった。

事業実績

項目	26期実績	26期計画	計画対比	25期実績	前期対比
売上高	84,765,993	104,549,260	-19,783,267	98,861,893	-14,095,900
仕入原価合計	22,195,280	27,830,000	-5,634,720	26,805,213	-4,609,933
売上総利益	62,570,713	76,719,260	-14,148,547	72,056,680	-9,485,967
販管費計	75,927,596	77,394,540	-1,466,944	76,703,448	-775,852
事業外収益	2,352,011	800,000	1,552,011	941,447	1,410,564
事業外費用	0	0	0	0	0
合計	-11,004,872	124,720	-11,129,592	-3,705,321	-7,299,551

# 貸借対照表

株式会社 五ヶ瀬ハイランド

令和2年5月31日現在

単位:円

資 産 の 部			負 債 の 部		
【流動資産】		【24,626,644】	【流動負債】		【54,430,953】
現金		623,360	買掛金		1,789,086
普通預金		20,122,864	短期借入金		20,000,000
普通預金		270,818	未払金		8,784,585
普通預金		9,568	前受金		20,833,330
売掛金		555,894	預り金		765,252
繰越商品	棚卸在庫	442,446	未払法人税		1,206,000
貯蔵品		1,516,833	未払消費税等		1,052,700
原材料		1,005,745	【固定負債】		【30,000,000】
前払費用		6,297	長期借入金		30,000,000
未収金		705	負債合計		84,430,953
立替金		1,134	純資産の部 (資本)		
その他流動資産		80,980	【株主資本】		△ 56,163,485
			【資本金】		【300,000,000】
			資本金		300,000,000
【固定資産】		【3,640,824】	利益準備金		1,200,000
(有形固定資産)		3,470,824	繰越利益剰余金		△ 357,363,485
建物		1,226,055	その他利益剰余金		△ 357,363,485
什器備品		206,823	利益剰余金合計		△ 356,163,485
構築物		214,544			
機械装置		1	純資産合計 (資本)		△ 56,163,485
建物附属備品		1,823,401			
(投資その他資産)		170,000			
出資金		100,000			
保証金		70,000			
資産合計		28,267,468	負債・純資産 (資本) 合計		28,267,468

## 第 17 期

平成 31 年 4 月 1 日から  
令和 2 年 3 月 31 日まで

## 事業報告書

### 事業概況

第 17 期における工場売上高（小売店・卸売・通販・直販・ワイン館出荷）につきましては、105,030 千円で第 16 期売上高（100,809 千円）に対しまして 4,221 千円増（104.2%）となりました。主な要因といたしまして、3 社の OEM 生産分の売上げの計上あげられます。㈱グラノ 24K（6,551 千円）、（一社）豊前國小笠原協会（1,204 千円）、㈱Y・G テック（754 千円）の合計 8,509 千円でありました。一方で、町内小売店が 1,907 千円減（83.6%）、宮崎県酒類販売㈱や㈱新酒販など主要卸業者への出荷額が 1,670 千円減（95.5%）となりました。また、当期より通信販売による売上げを売店計上へ移行したことも減少に働きました。当期におきましては、115,000 千円の売上げを予算計上いたしておりましたが、上記の要因に加え、2 月末からの新型コロナウイルス感染症拡大の余波で具体的な数字として表れないマイナスの影響もあり、これまでの最高売上高である熊本地震前年の第 13 期売上高（114,033 千円）にも及ばない状況でありました。

直売所である「ワイン館」の売上高は 65,911 千円で、前期（69,395 千円）に対しまして、3,483 千円減（95.0%）でありました。インフラ整備が進みアクセスが良くなったことで、募集型のバスツアーや一般団体客の利用が前期に引き続き好調でありましたが、10 月の消費税 10%への増税による影響、2 月末以降の募集型のツアー（阪急交通、熊本電鉄、タビックス）、モニターツアー、一般団体の予約がすべてキャンセルになるなど厳しい状況下に置かれたことに加え、前期は「コープみやざき 45 周年」に際しての記念品 600 セット（1,760 千円）を受注できていたこともあり、前期比 5.0%減となりました。

レストラン「雲の上のぶどう」の売上高は 18,985 千円で前期（19,907 千円）に対しまして、922 千円減（95.4%）でありました。前期に引き続き、夜の予約営業が好調なことや 6 月の閑散期における同窓会関係の町民の方々の利用が増えてきていること、募集型ツアーの集客が増えたことで 1 月までは前期比 2%増で推移しておりましたが、2 月、3 月で確定していた昼食団体や送別会予約など 1,200 千円（672 名）がキャンセルとなり、一転して前期比 4.6%減となりました。

農園売上高につきましては、今期の生産高は 4,902 千円で、前期（5,699 千円）に対しまして 797 千円減（86.0%）となりました。前期から高品質かつ安定的なぶどう生産体制を進めたことが要因と考えられますが、各種コンクールで受賞するなどワイン自体の品質向上に繋がりました。五ヶ瀬町全体のブドウ収穫量は 89 t（前期 103 t）で 13.6%減となりました。その内の 11 t（前期 13 t）が自社管理圃場収穫分であり、全体の収穫量に占める割合は 12.4%でありました。

それでは、当期の事業概況についてご報告申し上げます。

売上高 194,891 千円、当期純損益金額△30,529 千円、当期末処理分損失金額は 62,651 千円という結果となりました。

## 貸 借 対 照 表

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

令和 2年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I【流動資産】	155,023,876	I【流動負債】	138,010,403
現金及び預金	16,973,449	短期借入金	127,500,000
売掛金(売店)	774,565	未払金	5,065,674
売掛金(工場)	4,996,347	未払費用	3,560,529
売掛金(レストラン)	92,280	未払法人税等	99,100
棚卸資産	131,618,338	未払消費税等	1,686,600
前払費用	171,429	預り金	98,500
未収入金	300,000		
仮払金	65,688	負債合計	138,010,403
立替金	31,780		
		純資産の部	
			円
II【固定資産】	6,379,337	I【株主資本】	23,392,810
1【有形固定資産】	6,038,822	1 資本金	50,000,000
建物附属設備	461,888	2【資本剰余金】	36,043,573
車両運搬具	2	(その他資本剰余金)	( 36,043,573)
工具器具備品	363,126	3【利益剰余金】	△62,650,763
器具備品	51,768	(その他利益剰余金)	( △62,650,763)
機械装置	5,162,038	繰越利益剰余金	△62,650,763
2【投資その他の資産】	340,515		
保険積立金	340,515	純資産合計	23,392,810
資産合計	161,403,213	負債・純資産合計	161,403,213

# 損 益 計 算 書

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額	
		円
I 【売 上 高】		
売上高（売店）	65,911,421	
売上高（工場）	105,029,734	
レストラン売上高	18,985,406	
売上高（農園）	4,902,200	
売上高（共通）	62,500	
		194,891,261
II 【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	7,019,997	
期首製品棚卸高	114,676,082	
商品仕入高	63,220,260	
酒 税	3,426,200	
当期製品製造原価	73,026,657	
期末製品棚卸高	117,800,337	
期末商品棚卸高	7,097,127	
売上総利益		136,471,732
III 【販 売 費 一 般 管 理 費】		58,419,529
営 業 損 失		98,244,093
		39,824,564
IV 【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	309	
雑 収 入	767,196	
		767,505
V 【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	14,700	
支 払 利 息	1,108,902	
経 常 損 失		1,123,602
		40,180,661
VI 【特 別 利 益】		
補 助 金 収 入	10,000,000	
		10,000,000
VII 【特 別 損 失】		
その他の特別損失	248,814	
税引前当期純損失		248,814
法人税、住民税及び事業税	99,100	
当期純損失		30,429,475
		99,100
		30,528,575